

- 東日本大震災被災者の健康状態に関する研究
- 岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究
- 国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究（健康と暮らし向きについての調査）
- 平成 22 年国民生活基礎調査

にご参加頂いた皆様へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、「被災者における K6 尺度の心理測定的特性および属性別得点分布の特徴：被災地データおよび一般国民データの二次解析による比較」を実施しています。

【研究課題】

被災者における K6 尺度の心理測定的特性および属性別得点分布の特徴：被災地データおよび一般国民データの二次解析による比較（10002-（1））

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野

研究責任者 川上憲人 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 教授

担当業務 データ解析

【研究期間】

2012 年 12 月 07 日 ～ 2017 年 12 月 06 日

【対象となる方】

①2011 年 9 月～2012 年 2 月の間に、岩手県大槌町、釜石市、山田町、陸前高田市における 18 歳以上の男女の方で、東日本大震災被災者の健康状態に関する研究（岩手県における東日本大震災津波被災者の支援を目的とした大規模コホート研究）の調査に参加した方。

②2006 年 5 月に実施された、全国の 150 の市区町村に居住する 20 歳以上 75 歳未満の方で、健康と暮らし向きについての調査に参加した方。

③2010 年 6 月における全国の男女の方で、国民生活基礎調査に参加した方。

【研究の目的】

被災者の方の心理的ストレス尺度（K6）への回答について、非被災者の方と比較した際の特性を明らかにすることを目的としています。

【研究の意義】

一般的な集団を対象とした精神疾患の診断基準は世界的に標準化されたものがありますが、これをそのまま被災者という特定の対象に応用することができるかについての研究は未だ充分ではなく、更なる検討を行う必要があります。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

上記の各調査に参加された方の回答データから、被災者と非被災者におけるK6得点や基本属性（性別や年齢等）、被災状況等を分析します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。匿名化した状態で解析に使用され、個別に割り振ったIDによってのみ区別されます。IDと氏名の対応表は、それぞれの調査を行った機関で厳密に管理されており、本研究において使用することはございません。

この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。なお、研究にご協力いただけない場合にも、皆様の不利益につながることは一切ありません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究計画書や研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部精神保健学分野教室費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、恐縮ですが研究参加への謝金等はありません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

研究責任者：川上憲人

連絡担当者：下田陽樹

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：thebesttidings@yahoo.co.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。